

10月9日発売！

『ヒトの発達の謎を解く』

胎児期から人類の未来まで

明和政子(みょうわ・まさこ)

京都大学教育学部卒。同大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。博士(教育学)。京都大学霊長類研究所研究員、京都大学大学院教育学研究科准教授を経て、現在、同大学院教授。専門は比較認知発達科学。主な著書に『まねが育むヒトの心』(岩波ジュニア新書)『なぜ「まね」をするのか』(河出書房新社)『心が芽ばえるとき——コミュニケーションの誕生と進化』(NTT出版)などがある。

胎児に心はあるのか？

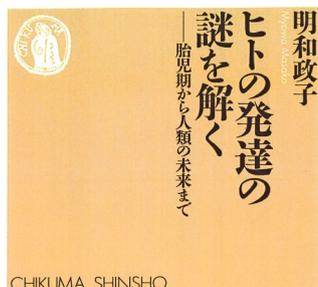
イヤイヤ期はなぜ起こるのか？

思春期に感情が爆発しがちなのはなぜか？

個性はいつ、どのように生まれるのか？

デジタル化社会は 子どもの脳と心にどのような影響をもたらすのか？

生物としてのヒトは、直線的に成長していくわけではない。複雑な曲線を描きながら「連続性」と「多様性」をもって変化していく。その複雑な軌跡を科学的に説明することができれば、ヒトが発達する過程で起こる不思議な現象を正しく理解することができる。ヒトの脳と心が生まれ、発達していくという生命現象を真に理解するための一冊。



CHIKUMA SHINSHO

—ヒトの心の特性は、進化の過程で身体を取り巻く環境に適応しながら獲得されてきた—そうした進化的理解なくして、ヒトの心、そしてそれを生み出す脳の謎はつきが解明・発達するはずで、さらに、その過程においてさまざまな問題が立ち現れる理由を正しく理解することはできません。

ちくま新書
1442

ちくま新書1442

定価(本体価格820円+税)

ISBN9784480072559

◆目次より◆

- 序章 ヒトが直面する二つの危機
- 第一章 生物としてヒトを理解する
- 第二章 学習し続ける脳と心
- 第三章 他者の身体なくしてヒトは育たない
- 第四章 脳が集中して学習するタイミング
- 第五章 発達の本質が崩れるとどうなるのか？
- 第六章 人類の未来を考える—ヒトが育つための条件

ご予約は、お近くの書店、web書店